

一刀領談

本紙客員論説委員 下條正男



しもじょう・まさお 長野県出身。国学院大学院博士課程修了。1999年から拓殖大教授を務め、昨年3月末で退官。現在は本紙客員論説委員のほか、島根県立大と東海大の客員教授。島根県の第5期竹島問題研究会の座長を務める竹島研究の第一人者。72歳。

参院選の最中の今月8日に遊説中の安倍晋三元首相が凶弾に倒れた。平和で安全と思われていた日本での元首相の暗殺事件は、国内内外に衝撃を与えた。それも容疑者が、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)信者の息子だったことも驚きであつた。容疑者によると、母親が旧統一教会に多額の献金を行ったことで家庭が崩壊し、その遺恨を晴らすと、旧統一教会と関係があつたとされる元首相を襲撃したという。

安倍氏の横死以後、日本では宗教と政治の関係が問われることになった。ネット上では与野党の別なく、統一教会との関係を取り沙汰された国会議員たちの弁明が続いた。それは韓国の宗教団体が、日本の国政にも影響を与えていたと勘ぐられたくなかつたからだろうが、その弁明自体が既に影響を受けている。

統一教会の正式名は世界基督教統一神霊協会。1954年、文鮮明氏によって設立された韓国の新興宗教の一つで、キリスト教信者の多い韓国内でも、正統派のキリスト教としては見られていない。韓国の宗教界はキリスト教と仏教が二天勢力となつているが、キリスト教の中には教組が一代で築き上げた新興教団も多く、オカルト的な宗教とし

韓国との付き合い方



2005年8月、成田空港で大勢のファンに迎えられるペ・ヨンジュン氏

特性踏まえ外交戦略を

て事件を起こすことも珍しくない。

韓国の宗教団体と島根県が「接点」を持ったことがあつた。2005年3月16日、島根県議会が「竹島の日」条例を制定すると、韓国のマスコミは、和服を着た女性たちが公衆の面前で「謝罪」する姿を報じるようになった。彼女たちは合同結婚式で韓国人男性と結婚した日本女性で、統一教会の関係者である。

だが、映像や写真で見ると、彼女たちには宗教的な熱心さは見られない。韓国では宗教と政治が結びつきやすく、宗教団体がその集団を利用し、政治的活動に走る傾向があるからだ。それは統一教会に限ったことではなく、韓国創備学会も「竹島の日」条例が制

定されると、10万人規模の反日大会を開催していた。韓国では歴史的事実とは関係なく、まず集団行動を起こして、大衆を煽動するのである。朴槿恵大統領を弾劾した17年の「ろうそく集会」もその行動様式の表れだ。韓国の若手研究者の中には、ろうそく集会を「成熟した韓国の民主主義」と自賛する者もいたが、今はその人々は静かである。朴政権を倒した文在寅政権の方がはるかに悪質だったからで、その反動として誕生したのが今の尹錫悦政権である。

■ドラマでシンパ

今では「韓流」は当たり前だが、「竹島の日」条例が制定された2005年頃にも、韓国ではそうした動

立ち上げ、韓流を利用し、世界を舞台に韓国のシンパを作る戦略を立てている。反日活動家を自任し、竹島問題や旭日旗で日本批判を続ける徐敬徳氏も、委員会の一員であつた。

それに韓国のテレビでは日本映画を見ることも、Jポップを視聴することもできない状態にある。韓流ドラマを放映し、Kポップを流す日本のテレビ局とは、大きな違いである。

安倍元首相の死は、はからずも日韓関係の断面とその課題をさらけ出すことになった。これを機に、日本も「遺憾だ」というだけの「遺憾砲」ではなく、朝鮮半島の政治的特性を踏まえた、外交戦略を構築しても悪くはないはずである。